＊＊2007 年　6 月 29 日作成(第 3 版)
　＊2006 年 11 月 27 日作成

届出番号 11B1X00002Z01001

＊機械器具(01)手術台及び治療台
一般医療機器　汎用診断・処置用テーブル　13958009

アトムネオテーブル DS-20

【警　告】
使用方法
●児の収容中は、本器から離れず、児から目を離さないこと。
［児が動いて台から落下する危険があります。］
●ウォーマを使用している間は、児の体温の変化に注意すること。

【禁忌・禁止】
使用方法
●本器に傷や破損がないことを確認してから使用すること。
●過度の負荷を加えたり、無理な使用はしないこと。
［器具の損傷の原因になります。］
●機器に異常がある場合や破損している場合は「使用禁止」と明示し、使用しないこと。

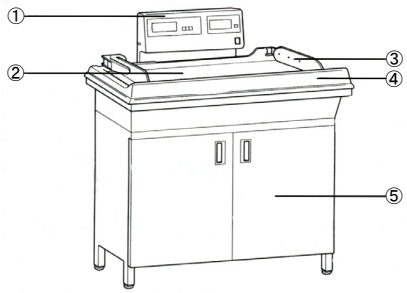
*【形状・構造及び原理等】

1. 構　成

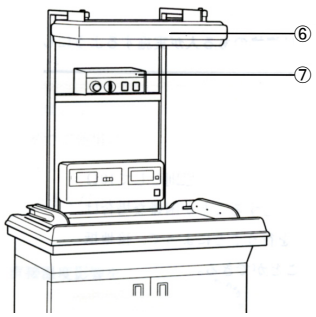
(1) 本　体
(2) キャノピー部(ウォーマ付)

2. 各部の名称

●本　体



●ウォーマ付



番号	名　称	番号	名　称
①	コントロールボックス	⑤	キャビネット
②	マットレス	⑥	キャノピー
③	測定板	⑦	ウォーマ用コントロールボックス
④	臥床台		

**3. 寸法・重量

(1) ●占有寸法
　幅 104　奥行 76　高 111cm(臥床面までの高さ 85cm)
　●有効寸法
　幅 93　奥行 52cm
　■ウォーマ付
　●占有寸法
　幅 104　奥行 80　高 187cm
(2) 重　量
　約 87.5kg
　■ウォーマ付
　約 106kg

*4. 原　理

本器は、新生児の診断・処置用のテーブルであり、ウォーマ部のヒータ熱量は児の体温や室温に応じて任意に調節することができる。また、新生児を本器の処置台部に載せることで体重を測定することができ、児の頭部と足部を測定板で両側から挟むことにより身長を測定することができる。

*【使用目的、効能又は効果】

本器は、新生児の診断および処置に用いるテーブルである。本器の基本性能として、新生児の体重および身長を測定することができる。このテーブルは診察室あるいは手術室などで使用される。

*【品目仕様等】

1. 機器の分類

(1) 一般的名称　　:汎用診断・処置用テーブル
(2) 電撃に対する保護の形式 :クラス I 機器
(3) 電撃に対する保護の程度 :B 形装着部

2. 電気的定格

(1) 定格電圧　　:AC100V±10%、周波数 50/60Hz 共用
(2) 電源入力　　:本体 30VA、ウォーマ部 540VA
(3) 消費電力　　:ヒータ 500W、照明 40W (20W 蛍光灯×2 本)
(4) ブレーカ　　:本体 1A、ウォーマ部 8A
(5) 保温タイマ設定 :連続および 0～30 分

3. 製品仕様

(1) 体重測定範囲 :秤量 20kg、目量 5g、使用範囲 100g～20kg
(2) 身長測定範囲 :420mm～900mm(1mm 単位)

4. その他

(1) 温度調節方式 :熱量調節ダイヤルによるマニュアルコントロール方式
(2) 保温時間設定 :タイマーにより最高 30 分まで任意に設定、30 分以上保温する場合には、タイマーを「連続」の位置にセット
(3) 経過表示　　:15 分経過ごとにランプの点滅と断続音で経過表示
(4) 警報表示　　:タイマーによる設定時間が経過すると、ランプの点灯と連続音で警報

＊＊※本器は EMC 規格 JIS T0601-1-2：2002 に適合しています。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【操作方法又は使用方法等】

1. 使用方法

本器の詳細な使用方法は、取扱説明書を参照してください。

1-1.体重計

(1) 電源スイッチを ON にすると、数秒間体重表示が点滅し、「0.000」を表示します。点滅中、臥床部に手などが触れていると、点滅を終了しないので、注意すること。「0.000」以外を表示したときは、「零点リセット」キーを 1 秒間押します。
(2) 通常は「表示固定中」キーを ON にして使用します。「表示固定中」キーをONにすると、表示固定モードサイン(▼印)が点灯し、体重表示値が自動的に固定されます。表示値をゼロに戻すときは、「零点リセット」キーを1秒間押します。「表示固定中」キーがONのときは、児が動いても体重表示値が固定されますが、OFF のときは、体重表示値は固定されません。
(3) 体重表示値が「0.000」であることを確認してから、児を臥床台に載せ、固定表示された測定値を読みます。
(4) 測定終了後、児を臥床台から下ろすと、自動的に表示の固定が解除され、表示固定モードサイン(▼印)が消灯し、体重表示が「0.000」に戻ります。

1-2.身長計

(1) 電源スイッチを ON にします。
(2) 児を臥床台の上に載せ、児の頭部と足部の両側から測定板で挟み、「表示固定/リセット」キーを 1 秒間押します。児の身長測定値が固定表示されます。
(3) 測定終了後、「表示固定/リセット」キーを1秒間押し、表示の固定を解除します。

1-3.ウォーマ部

(1) ヒータの熱量調節は、ダイヤルで任意に設定できます。児の体温や室温に応じて調節し、児の体温の変化に充分注意します。
(2) 設定時間が30分以内のときは、タイマを右に回して希望する保温時間にダイヤルを合わせます。設定時間内の保温が完了すると、自動的にヒーターが切れ、警報ランプの点灯と連続音で知らせます。設定時間が30分を超える場合は、「連続」の位置に合わせます。保温中は15分を経過するごとに、警報ランプの点滅と断続音で知らせます。
一度設定したタイマを切りたいときは、カチッと音がするまで、「切」の方向へ回します。5分以内の設定では、ダイヤル誤差を生じる可能性があるので、ダイヤルを一度設定時間以上回してから設定時間まで戻すようにします。
(3) 照明灯スイッチを「ON」にすると、キャノピーに取り付けられた蛍光灯2灯が点灯します。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

(1) 体重計は測定場所の重力加速度により、測定値が異なります。本器はあらかじめ使用区域ごとの重力加速度に調整されているので、指定された区域外で使用すると、正確な体重測定ができない。
(2) 本体は水平に設置すること。水平に設置されていないと、正確な体重測定ができない。
(3) キャノピーは下面だけでなく、上面へも放熱があるため、キャノピー上面と天井との間隙を30cm以上スペースが確保できる天井高のある場所に設置すること。
*(4) 秤量(20kg)を超える体重は計量できません。秤量(20kg)を超えると体重と体重表示部に「－－－－－」が表示されます。
(5) 風袋引き中は「零点リセット」はできない。
(6) 電源コンセントの位置は、本器の近くで電源コードに人が触れない位置を選び、機器 1 台ごとに専用のコンセントを用いること。また、アースを確実にとるために、電源コードは正しくアースされた 3 芯接地型コンセントだけに接続すること。
また、延長コードは使用しないこと。
(7) 本器の使用中は児の状態を常に監視し、児の体温変化に注意して熱量を設定すること。
(8) 熱量調節は児の状態を監視しながら徐々に上げるようにし、急激な加温は避けること。
[体温が上がりすぎる場合があります。]
(9) 本器の使用中は児の不感蒸泄の増加に注意すること。
(10) ウォーマ加温中はヒータに手を触れないこと。
[火傷の危険があります。]
(11) キャノピーを布などで覆ったり、壁に密着させて使用しないこと。[火災の原因になります。]
(12)分解や改造をしないこと。
[火災や感電、けがの原因になります。]
(13)本器は日本国内専用です。取扱説明書の指示と異なる電源電圧で使用しないこと。[火災や感電の原因になります。]
(14)故障を発見したら勝手にいじらず、修理は専門家にまかせること。
(15)本器に衝撃を与えたり、ぶつけたりしないこと。
[故障や破損の原因になります。]

2. 併用禁忌

高周波を発生する機器を、本器の周辺で使用しないこと。
[医用電気メスや携帯電話機等の高周波を発生する機器を、本器の作動中に周辺で使用すると、電波障害による誤作動の原因になります。]

3. 併用注意

周辺機器の作動状況に注意すること。
[微弱な信号を扱う機器が本器の周辺に設置されている場合、本器から発生する電磁波の影響を受ける可能性があります。本器を使用する場合は予め確認を行い、問題が生じたときは直ちに使用を中止してください。]

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 保管条件
温度範囲:10～60℃
湿度範囲:30～75%(結露なきこと)

2. 使用条件
温度範囲:10～40℃
湿度範囲:30～75%(結露なきこと)

3. 耐用期間
本器の耐用期間は 6 年です。[自己認証データによる]

【保守・点検に係る事項】

本器を安全に、より長い間ご使用いただくために、保守点検を実施してください。
(1) 毎回の使用前に、各部の基本的な機能動作を点検し、破損やガタツキがないことを確認します。
(2) 使用後は取扱説明書第5章の記載に従って清拭・消毒し、次回の使用に備えます。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

■製造販売業者

アトムメディカル株式会社
〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1
TEL:048-853-3661(大代表) FAX:048-853-0304(代表)

■製造業者

アトムメディカル株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-15
TEL:03-3815-2311(大代表) FAX:03-3812-3144(代表)